

テキストマイニングとは、大量のテキストデータを分析する手法のことである。分析したデータを可視化し、経営戦略や業務改善を行うことが出来ると考えられているため、企業でもビッグデータの解析に積極的に活用されている。

また、教育現場でもテキストマイニングの活用が期待できる。文部科学省の StuDX Style では、テキストマイニングを利用した振り返り学習が挙げられている<sup>①</sup>。

今回、簡易的な活用ではあるが、フリーソフトを活用して、1年授業（化学基礎・理数化学）の冒頭で、化学のイメージに関するアンケートを行った。その結果を、テキストマイニングツールでまとめ、生徒に提示した。これにより、授業で教える内容が変わることはないが、授業の展開を考える上で参考となった。

化学1年スタートアップアンケート

アカウントを切り替える

共有なし

\* 必須の質問です

化学について思いつくことはなんですか？ \*

単語または短い文章で教えてください(^o^)

回答を入力

送信

フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

図1. スタートアップアンケートの google form

「化学反応式」「元素記号」「三角フラスコ」など、中学校で学習した語句が多くを占めた。これらを参考にして心がけていることは、

- ①化学変化を伴う場合、化学反応式を示すようにすること
- ②教科書の見開きにある周期表を扱う際に、様々な元素の元素記号とその原資の原子からなる物質について取り上げるようにすること
- ③実験操作・実験器具について、可能な限り班または個人で触れたり体験したりできるようにすること

生徒の思いや考えを随所に取り入れて授業を行っていくと、生徒を惹きつけやすい。

